

NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2023-24

コベルコ神戸スティーラーズ ホストゲーム 試合前イベント

SCIX『雛祭り talk event in 花園～女性だって、ラグビーを仕事にしたい！～』

実施報告書

【概要】

主催：特定非営利活動法人スポーツ・コミュニティ・アンド・インテリジェンス機構

協力：コベルコ神戸スティーラーズ

開催日時：2024年3月3日（日）13:00～14:00

場所：東大阪市花園ラグビー場「ワールドカップ2019 ルーム」

参加対者：女性、カップル、親子、女性を中心としたグループ（4名まで） 計100名様（抽選）

■講師

辻本つかさ氏 / 追手門学院高等学校教諭 女子ラグビー部監督

竹内佳乃氏 / 三重ホンダヒート アナリスト

木下友紀子氏 / 報徳学園高等学校教諭 ラグビー部顧問

■司会

平尾 剛氏 / 神戸親和大学 教授、元ラグビー日本代表、SCIX 理事

【実施内容】

2024年3月3日（日）の「雛祭り」に、花園ラグビー場で開催されたコベルコ神戸スティーラーズのホストゲーム、リーグワン第8節 VS トヨタヴェルブリッツ（14:30KO）の「試合前イベント」として実施された「SCIX 雛祭り talk event in 花園」。「ラグビーは男のスポーツ」「男

の職場」と言われていた時代に、さまざまな道を模索しながら、現在は指導者やチームスタッフ、部活の顧問として選手と一緒にグラウンドに立つラグビーウーマン3名にご登壇いただき、「女性だって、ラグビーを仕事にしたい！」をテーマに語っていただきました。女性がこれからどんどんラグビーに関わることで、ラグビー界はどう変わっていくのか、どんな可能性が広



がるのかを、元ラグビー日本代表であり、SCIX 理事にも就任いただいた平尾剛氏にナビゲートをお願いしてのトークセッションです。

今回登壇いただいた女性講師3名は、いずれも SCIX ラグビークラブ女子の部 OG。現在、追手門学院高校の女子ラグビー部監督を務める辻本つかさ氏は1982年、兵庫県神戸市出身。高校3年生の時に兵庫レディース（女子ラグビー）を知り、大学生で本格的に競技を始め、15人制日本代表を経て、7人制日本代表でも活躍。2009年には女子部門が新設された「第5回ワールドカップセブンズ」への出場を果たすなど、13年プレーを続け女子日本代表を牽引してきた人物。現役引退後も指導者として、ラグビー界で女性の活躍をリードし続ける存在と言えます。

2018年シーズンより三重ホンダヒートのアナリストとして活躍する竹内佳乃氏と報徳学園ラグビー部顧問の木下友紀子氏は共に1996年生まれながら、早生まれの竹内さんが1年先輩のチームメート。トークのなかでも、木下氏が竹内氏を「よしのちゃん」と呼ぶシーンも見られました。



会の冒頭では、「13年ラグビーをしているが、指導者になって以降ラグビーが面白いと思ったことは一度もない。今になって思えば、現役時代は全くラグビーのことをわかっていなかった。ただラグビーをしていただけ。指導者一年目にそれを痛感した」という辻本氏同様に、竹内氏も「私もプレーしている時は深く考えていなかった。スタッフの立場になって初めて考えるようになった」とコメントするなど、スタッフサイドにまわってからの視点の違いや苦労について触れられました。

その後、平尾氏より今回のテーマである「女性」という点において、「ラグビーは男のスポーツ、男の職場と言われてきたが、その業界で仕事をする上で、ジェンダーという観点で嫌な想いをしたり、ジェンダーが影響した経験」について言及がありました。これに木下氏と竹内氏は現職就任当初「女性」というだけで、複数のメディアに取り上げられたと回答。「それだけラグビー界に女性スタッフが少ないことを物語っているのだと思う」と続けました。

また、「ラグビー界や男性社会と思われる業界でも、女性が活躍できるというロールモデルに私になればと思っています。女性の背中を押したい」と竹内氏。



一方で、女子ラグビー部監督を10年務める辻本氏は、女子ラグビー部の指導をする上で、「同性だからこそ言いたいことがストレートに言い易い」と言います。男性指導者の場合、容姿に関連する「太った」「痩せた」といった内容は、プレーに直結する大事な要素であっても、センシティブかつセクハラと受け取られかねないトピックということで、選手への伝え方に苦労するのだとか。その点、同性だと指摘し易いと辻本氏。平尾氏からは、「そもそも『女子ラグビー』という言葉自体がおかしい。『ラグビー』は男子のもの、というのが前提としてある。男子、女子とそれぞれに付けるべき」という提言もありました。



最後は参加者との質疑応答タイム。「オフの過ごし方は?」「タフな仕事でもずっと続けている、ラグビー魅力は何?」(「ほかのスポーツでは体験できない一体感」竹内氏)など積極的に質問が投げかけられ、あっという間の1時間でした。この後の試合観戦にも役立つ、アナリストならではの竹内氏による「試合の見どころ」も聞く事ができ、大変興味深い内容だったかと思います。ご参加

くださった皆様ありがとうございました。

今回お迎えした3人の登壇者のように、長くラグビーを続け、ラグビーを愛し、ラグビー界で活躍する女性が増え、もっと増えることを期待します。

(レポート 中野里美)